

2021年8月期 決算短信〔日本基準〕(連結)



2021年10月8日

東

上場会社名 株式会社ジズホールディングス 上場取引所
 コード番号 3046 URL https://jinsholdings.com
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 田中 仁
 問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 山脇 幹也 (TEL) 03-5275-7001
 定時株主総会開催予定日 2021年11月25日 配当支払開始予定日 2021年11月26日
 有価証券報告書提出予定日 2021年11月25日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年8月期の連結業績(2020年9月1日~2021年8月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期	63,898	6.0	5,049	△10.1	5,020	△13.8	3,292	95.1
2020年8月期	60,258	△2.6	5,617	△24.7	5,827	△16.9	1,687	△56.4

(注) 包括利益 2021年8月期 3,623百万円(134.9%) 2020年8月期 1,542百万円(△59.7%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年8月期	141.07	127.35	17.3	9.4	7.9
2020年8月期	71.49	67.40	8.4	12.9	9.3

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年8月期	53,007	20,219	38.1	866.29
2020年8月期	53,392	17,763	33.3	761.05

(参考) 自己資本 2021年8月期 20,219百万円 2020年8月期 17,763百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年8月期	5,058	△3,175	△3,758	23,206
2020年8月期	7,749	△3,878	12,438	24,667

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年8月期	—	0.00	—	25.00	25.00	583	35.0	3.0
2021年8月期	—	25.00	—	20.00	45.00	1,050	31.9	5.5
2022年8月期(予想)	—	8.00	—	37.00	45.00		31.8	

3. 2022年8月期の連結業績予想(2021年9月1日~2022年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	32,300	2.1	1,100	△58.7	1,000	△61.3	600	△68.6	25.71
通期	70,700	10.6	6,300	24.8	5,950	18.5	3,300	0.2	141.39

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年8月期	23,980,000株	2020年8月期	23,980,000株
② 期末自己株式数	2021年8月期	639,784株	2020年8月期	639,745株
③ 期中平均株式数	2021年8月期	23,340,216株	2020年8月期	23,605,321株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理性があると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の6ページ「今後の見通し」をご覧ください。

当社は、2021年10月8日にアナリスト及び機関投資家向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料につきましては、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	5
(4) 今後の見通し	6
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	6
3. 連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 連結貸借対照表	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(セグメント情報等)	14
(追加情報)	16
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17
4. その他	18
(1) 役員の変動	18

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2020年9月1日～2021年8月31日)における国内経済は、1月以降、都心部を中心に新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言等が断続的に発令され、とりわけ4月には対象地域の大型商業施設では営業自粛を要請されるなど、個人消費を中心に経済に大きく影響が出ておりました。世界経済においては、各国において新型コロナウイルス感染症対策としてワクチン接種が進められており、国、地域によって経済の回復状況は異なっているものの、景気の回復傾向が見受けられます。一方で、足元では中国政府の投資抑制策による経済への影響が懸念されており、今後の動向を注視しております。

また、国内眼鏡小売市場(視力矯正眼鏡)は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言の影響に関して、前年も厳しい営業自粛要請を伴っていたこともあり、前年比では市場規模はほぼ横ばいとなっておりますが、前々年の水準には至っていない状況であります。

このような市場環境の中で、当社グループのアイウェア事業では、経営課題として掲げている商品ラインアップの多様化及びデジタルトランスフォーメーションの推進などの取り組みを進めてまいりました。国内アイウェア事業においては、より利便性の高い購買体験の提供を進めている中、度数情報や保証書機能を持ったJINSアプリの会員数が2021年8月末現在で約870万人となりました。また、フランスのデジタルアイウェアカンパニーであるFITTINGBOX社と資本業務提携契約を締結し、同社の保有するバーチャル試着及びAR(拡張現実)ソリューションをはじめとした先進的なデジタル技術を取り入れた購買体験の取り組みを加速しております。店舗開発につきましては、都心でのショッピングを避ける傾向も見受けられることから、主にインバウンド需要の高かった都心の店舗を閉店しつつ、より生活圏に近い立地への出店を進めるなど、新しい生活様式に対応した取り組みを進めてまいりました。商品開発につきましては、「近視のない世界の実現」に向けた取り組みの一環として、バイオレットライトを用いた近視進行抑制メガネ型医療機器開発の共同プロジェクトを進めており、当連結会計年度の研究開発費の総額は373百万円となりました。

店舗展開につきましては、当連結会計年度末におけるアイウェアショップの店舗数は、国内434店舗、海外220店舗(中国170店舗、台湾38店舗、香港6店舗、米国6店舗)の合計654店舗となりました。

以上の結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高は主に国内アイウェア事業にて前年の全国的な緊急事態宣言発令の影響による営業自粛の反動があったものの、まだ個人消費の回復には至っていないこともあり63,898百万円(前年同期比6.0%増)にとどまりました。営業利益はコンタクトレンズ「JINS 1DAY(ジズワンデー)」のTVCM等による広告宣伝費の増加等により5,049百万円(前年同期比10.1%減)となりました。経常利益は5,020百万円(前年同期比13.8%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は子会社の清算に伴う税効果の影響により3,292百万円(前年同期比95.1%増)となりました。

セグメント業績の概要は、次のとおりであります。

セグメント別の売上高

セグメントの名称	当連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)	構成比	前年同期比増減
国内アイウェア事業	51,160百万円	80.1%	8.1%
海外アイウェア事業	12,737百万円	19.9%	17.3%
合計	63,898百万円	100.0%	6.0%

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 合計の前年同期比増減には雑貨事業から撤退した影響が含まれております。

〈国内アイウェア事業〉

国内アイウェア事業につきましては、TVCM等の広告施策を展開したコンタクトレンズ「JINS 1DAY (ジズワンデー)」の無料お試しキャンペーンが好評だった他、世界中で愛され続けているキャラクター「ポケットモンスター (ポケモン)」をJINSならではの視点でデザインした「JINS ポケモンモデル」が売上を牽引しました。また、エアフレームの最上級モデル「Ultra Light Airframe」をはじめとした高付加価値商品が好調だったこと等による一式単価の上昇により、引き続き売上高総利益率が改善しました。新型コロナウイルス感染症の影響につきましては、前年の休業による影響と比べると改善はしているものの、海外渡航者の入国制限が継続していることからインバウンドの売上が大きく減少しました。また、1月以降、都心部を中心に新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言等が断続的に発令され、とりわけ4月には対象地域の大型商業施設では営業自粛を要請されるなど、業績に少なからず影響がありました。足元では7月下旬から8月にかけて新型コロナウイルス感染者数が全国的に爆発的に増加し、特に週末の外出を控える傾向が見受けられ、客足に大きな影響がありました。

店舗展開につきましては、地域と共生することを目指した新たな出店形態の取り組みとして、ベーカリーカフェを併設した「JINS PARK」を創業の地である群馬県前橋市にオープンしました。なお、国内店舗数は434店舗（出店27店舗、退店8店舗）となりました。

以上の結果、国内アイウェア事業の業績は、売上高51,160百万円（前年同期比8.1%増）、営業利益4,886百万円（前年同期比17.8%減）となりました。

〈海外アイウェア事業〉

海外アイウェア事業につきましては、中国においては、政府による新型コロナウイルス感染症の対策が功を奏しており、業績は概ね順調に推移しております。

台湾においては、新型コロナウイルス感染症の影響はほとんど見受けられず、業績は順調に推移しておりましたが、5月中旬以降、新規感染者の急増に端を発した政府の政策により社会活動の制限がなされ、客足に大きく影響がありました。

香港においては、政情不安によるデモ騒動の影響は沈静化しつつあり、新型コロナウイルス感染症の影響による消費の低迷からも回復基調にあります。業績はこれにより順調に回復しております。

米国においては、新型コロナウイルス感染症の影響により出店しているカリフォルニア州では経済の停滞が長く続いていました。6月中旬以降、店舗は全店で営業を再開し、徐々に店舗売上は回復してきておりますが、引き続きDX化を進め、EC販売に注力しております。

店舗展開につきましては、中国170店舗（出店15店舗、退店7店舗）、台湾38店舗（出店9店舗、退店1店舗）、香港6店舗（出店、退店なし）、米国6店舗（出店1店舗、退店なし）の合計220店舗となりました。

以上の結果、海外アイウェア事業の業績は、売上高12,737百万円（前年同期比17.3%増）、営業利益162百万円（前年同期は営業損失9百万円）となりました。

なお、雑貨事業につきましては前連結会計年度末をもって撤退しております。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産、負債及び純資産の状況)

当連結会計年度末の資産、負債及び純資産の状況は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	2020年8月期末	2021年8月期末	増減	増減率(%)
総資産	53,392	53,007	△385	△0.7
負債	35,629	32,787	△2,842	△8.0
純資産	17,763	20,219	2,456	13.8

(イ)資産

流動資産は、33,205百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,899百万円減少いたしました。

これは主に、商品及び製品が171百万円増加したものの、現金及び預金が1,461百万円、受取手形及び売掛金が690百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、19,801百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,513百万円増加いたしました。

これは主に、建物及び構築物等の有形固定資産が275百万円減少したものの、投資有価証券が1,152百万円、敷金及び保証金が196百万円増加したことによるものであります。

以上により、総資産は、53,007百万円となり、前連結会計年度末に比べ385百万円減少いたしました。

(ロ)負債

流動負債は、10,501百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,336百万円減少いたしました。

これは主に、1年内返済予定の長期借入金1,010百万円減少、未払法人税等が1,517百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、22,285百万円となり、前連結会計年度末に比べ505百万円減少いたしました。

これは主に、リース債務が243百万円減少したことによるものであります。

以上により、負債合計は32,787百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,842百万円減少いたしました。

(ハ)純資産

純資産合計は、20,219百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,456百万円増加いたしました。

これは主に、配当金の支払いにより1,167百万円減少したものの、親会社株主に帰属する当期純利益3,292百万円を計上したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度のキャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

なお、当連結会計年度末の現金及び現金同等物の残高は23,206百万円となりました。

(単位：百万円)

	2020年8月期	2021年8月期	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	7,749	5,058	△2,691
投資活動による キャッシュ・フロー	△3,878	△3,175	703
財務活動による キャッシュ・フロー	12,438	△3,758	△16,196

(イ) 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ2,691百万円収入が減少し、5,058百万円の収入となりました。

これは主に、税金等調整前当期純利益4,372百万円、減価償却費2,624百万円の計上による資金の増加があったものの、法人税等の支払額2,813百万円による資金の減少があったことによるものであります。

(ロ) 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ703百万円支出が減少し、3,175百万円の支出となりました。

これは主に、店舗の出店及び改装に伴う有形固定資産の取得による支出1,588百万円、投資有価証券取得による支出1,196百万円によるものであります。

(ハ) 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ16,196百万円収入が減少し、3,758百万円の支出となりました。

これは主に、長期借入金の返済による支出1,175百万円、配当金の支払額1,166百万円によるものであります。

(ニ) キャッシュ・フロー関連指標の推移

当社グループのキャッシュ・フロー関連指標の推移は、次のとおりです。

	2017年8月期	2018年8月期	2019年8月期	2020年8月期	2021年8月期
自己資本比率(%)	57.7	62.6	61.1	33.3	38.1
時価ベースの自己資本比率(%)	509.6	434.7	384.3	328.8	324.8
キャッシュ・フロー 対有利子負債比率(%)	89.4	89.4	69.8	316.4	461.7
インタレスト・ カバレッジ・レシオ(倍)	45.2	31.6	40.9	53.7	28.6

自己資本比率：自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債/キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー/利払い

(注) 1 株式時価総額は、期末株価終値×発行済株式総数により算出しております。

(注) 2 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っているすべての負債を対象としております。

(注) 3 キャッシュ・フロー及び利払いは、連結キャッシュ・フロー計算書に計上されている「営業活動によるキャッシュ・フロー」及び「利息の支払額」を用いております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、当社グループを取り巻く社会環境においては、新型コロナウイルス感染症の感染者数増加による個人消費への影響が引き続き懸念されているものの、ワクチン接種率の上昇とともに経済活動の再開に向けた取り組みも進められており、感染者数の増加を抑制しつつ、段階的に景気が回復されることが期待されております。

このような経営環境の変化が見られる中、当社グループがさらなる成長を実現していくために、お客様の購買目的に応じた購買体験の充実に取り組んでいく方針です。当社のコアとなる20代から30代のお客様には、かねてより進めているECサイトでの販売やアプリの活用をさらに推し進め、操作性や機能の向上、新規サービスの導入等による利便性の高い購買体験を提供してまいります。また、ミドル世代やお子様連れファミリー層には、お困りごとに対応する丁寧な接客を心がけ、安心してご購入求めいただける店舗環境を整備してまいります。一方で、全社的なデジタルトランスフォーメーションは引き続き取り組みを進め、店舗オペレーションに限らず、本部における商品管理、業績管理等の業務においてより高度なデジタル化を図り、最適化、効率化を進めることでコスト削減に努めてまいります。

店舗戦略においては、密集しやすい都心でのショッピングを避ける傾向も見受けられることから、生活圏に近い立地への出店の比重を高めてまいります。

また、イノベーティブなプロダクトの開発も継続的に取り組み、バイオレットライトを用いた近視進行抑制メガネ型医療機器のようなお客様に新しい価値を提供できるアイウェアの開発を進めてまいります。

海外アイウェア事業に関しましては、各国、各地域において、新型コロナウイルス感染症による社会環境の変化に対応しつつ、ECサイトの充実などの顧客体験向上を進めていくとともに、店舗においては既存店の着実な増収を推し進め、適切な新規出店を行うことで収益性の向上に取り組んでまいります。

以上により、2022年8月期の通期連結業績予想を、売上高70,700百万円、営業利益6,300百万円、経常利益5,950百万円、親会社株主に帰属する当期純利益3,300百万円としております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループでは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当連結会計年度 (2021年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,667	23,206
受取手形及び売掛金	4,484	3,794
商品及び製品	4,344	4,515
原材料及び貯蔵品	241	359
その他	1,366	1,328
流動資産合計	35,104	33,205
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,552	15,570
減価償却累計額	△7,278	△8,431
建物及び構築物(純額)	7,274	7,139
機械装置及び運搬具	166	166
減価償却累計額	△71	△64
機械装置及び運搬具(純額)	95	102
工具、器具及び備品	2,089	2,295
減価償却累計額	△1,554	△1,777
工具、器具及び備品(純額)	535	518
リース資産	2,934	3,435
減価償却累計額	△1,870	△2,357
リース資産(純額)	1,064	1,078
建設仮勘定	199	54
有形固定資産合計	9,168	8,892
無形固定資産		
リース資産	80	24
その他	2,159	2,220
無形固定資産合計	2,240	2,244
投資その他の資産		
投資有価証券	687	1,840
長期貸付金	759	838
繰延税金資産	1,043	1,403
敷金及び保証金	4,317	4,514
その他	70	67
投資その他の資産合計	6,879	8,664
固定資産合計	18,288	19,801
資産合計	53,392	53,007

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当連結会計年度 (2021年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,745	1,506
短期借入金	1,753	2,121
1年内返済予定の長期借入金	1,064	53
未払金及び未払費用	4,296	4,410
リース債務	571	444
賞与引当金	49	49
未払法人税等	2,175	657
未払消費税等	844	1,075
資産除去債務	47	—
その他	289	181
流動負債合計	12,838	10,501
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	20,211	20,135
長期借入金	294	217
リース債務	623	380
資産除去債務	517	528
その他	1,143	1,024
固定負債合計	22,791	22,285
負債合計	35,629	32,787
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,202	3,202
資本剰余金	3,228	3,228
利益剰余金	16,622	18,747
自己株式	△5,002	△5,002
株主資本合計	18,050	20,176
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△287	43
その他の包括利益累計額合計	△287	43
純資産合計	17,763	20,219
負債純資産合計	53,392	53,007

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
売上高	60,258	63,898
売上原価	13,560	13,487
売上総利益	46,698	50,410
販売費及び一般管理費	41,080	45,361
営業利益	5,617	5,049
営業外収益		
受取利息	45	85
受取手数料	38	49
受取賃貸料	7	7
還付消費税等	627	—
為替差益	27	222
補助金収入	0	90
その他	93	28
営業外収益合計	838	483
営業外費用		
支払利息	178	162
社債発行費	90	—
支払手数料	10	5
不動産賃貸費用	313	312
開業費償却	25	—
その他	9	31
営業外費用合計	628	511
経常利益	5,827	5,020
特別利益		
助成金収入	527	—
特別利益合計	527	—
特別損失		
固定資産除却損	161	47
減損損失	541	390
店舗閉鎖損失	55	94
店舗臨時休業による損失	1,213	71
事業撤退損失	662	—
その他	40	43
特別損失合計	2,674	647
税金等調整前当期純利益	3,681	4,372
法人税、住民税及び事業税	2,189	1,427
法人税等調整額	△195	△347
法人税等合計	1,994	1,079
当期純利益	1,686	3,292
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△0	—
親会社株主に帰属する当期純利益	1,687	3,292

連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
当期純利益	1,686	3,292
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△144	331
その他の包括利益合計	△144	331
包括利益	1,542	3,623
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,543	3,623
非支配株主に係る包括利益	△0	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	3,202	3,179	16,133	△1	22,513	△143	△143	22,370
当期変動額								
剰余金の配当			△1,198		△1,198			△1,198
親会社株主に帰属する当期純利益			1,687		1,687			1,687
自己株式の取得				△5,000	△5,000			△5,000
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		49			49			49
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△144	△144	△144
当期変動額合計	—	49	488	△5,000	△4,462	△144	△144	△4,607
当期末残高	3,202	3,228	16,622	△5,002	18,050	△287	△287	17,763

当連結会計年度(自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	3,202	3,228	16,622	△5,002	18,050	△287	△287	17,763
当期変動額								
剰余金の配当			△1,167		△1,167			△1,167
親会社株主に帰属する当期純利益			3,292		3,292			3,292
自己株式の取得				△0	△0			△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						331	331	331
当期変動額合計	—	—	2,125	△0	2,125	331	331	2,456
当期末残高	3,202	3,228	18,747	△5,002	20,176	43	43	20,219

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	3,681	4,372
減価償却費	2,762	2,624
減損損失	541	390
のれん償却額	71	71
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	—
受取利息及び受取配当金	△45	△85
支払利息	178	162
為替差損益(△は益)	35	△217
固定資産除却損	161	47
店舗閉鎖損失	55	94
売上債権の増減額(△は増加)	△82	735
たな卸資産の増減額(△は増加)	844	△260
その他の資産の増減額(△は増加)	11	37
仕入債務の増減額(△は減少)	377	△272
未払消費税等の増減額(△は減少)	508	227
未払金の増減額(△は減少)	380	77
未払費用の増減額(△は減少)	147	△11
その他の負債の増減額(△は減少)	△241	△126
その他	△256	103
小計	9,131	7,968
利息及び配当金の受取額	25	8
利息の支払額	△144	△176
法人税等の支払額	△1,784	△2,813
助成金の受取額	521	71
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,749	5,058
投資活動によるキャッシュ・フロー		
事業譲渡による収入	—	159
有形固定資産の取得による支出	△2,267	△1,588
無形固定資産の取得による支出	△319	△343
貸付けによる支出	△158	△127
貸付金の回収による収入	43	47
事業譲受による支出	△391	—
敷金及び保証金の差入による支出	△376	△420
敷金及び保証金の回収による収入	117	294
投資有価証券の取得による支出	△526	△1,196
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,878	△3,175

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△196	149
長期借入れによる収入	268	68
長期借入金の返済による支出	△226	△1,175
転換社債型新株予約権付社債の発行による収入	20,151	—
割賦債務の返済による支出	△652	△884
自己株式の取得による支出	△5,005	△0
リース債務の返済による支出	△752	△749
配当金の支払額	△1,197	△1,166
非支配株主からの払込みによる収入	50	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	12,438	△3,758
現金及び現金同等物に係る換算差額	△120	413
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	16,188	△1,461
現金及び現金同等物の期首残高	8,479	24,667
現金及び現金同等物の期末残高	24,667	23,206

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、グループ全体を統括する持株会社である当社の下で、各事業会社を基礎とした事業、地域別のセグメントから構成されており、「国内アイウェア事業」、「海外アイウェア事業」の2つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「国内アイウェア事業」及び「海外アイウェア事業」では、主に眼鏡等を販売しており、各国の現地法人がそれぞれ店舗及びインターネット等における眼鏡等の販売を担当しております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産 その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部売上高又は振替高は主に市場価格に基づいております。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、前連結会計年度末において「雑貨事業」から撤退しております。

4 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	連結 財務諸表 計上額 (注)2
	国内 アイウェア 事業	海外 アイウェア 事業	雑貨事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	47,324	10,856	2,078	60,258	—	60,258
セグメント間の内部 売上高又は振替高	646	6	—	653	△653	—
計	47,971	10,862	2,078	60,912	△653	60,258
セグメント利益又は損 失(△)	5,942	△9	△316	5,617	—	5,617
セグメント資産	26,723	9,022	510	36,256	17,136	53,392
その他の項目						
減価償却費	1,992	756	13	2,762	—	2,762
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	2,949	788	36	3,773	—	3,773

(注)1 セグメント資産の調整額17,136百万円には、主に投資と資本の相殺消去△5,910百万円、債権債務の相殺消去△18,359百万円、貸倒引当金の修正2,143百万円、及び各報告セグメントに配分していない全社資産等39,373百万円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	連結 財務諸表 計上額 (注)2
	国内 アイウェア 事業	海外 アイウェア 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	51,160	12,737	63,898	—	63,898
セグメント間の内部 売上高又は振替高	584	7	592	△592	—
計	51,745	12,745	64,490	△592	63,898
セグメント利益	4,886	162	5,049	—	5,049
セグメント資産	25,126	11,918	37,045	15,962	53,007
その他の項目					
減価償却費	1,945	695	2,640	—	2,640
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	1,855	612	2,468	—	2,468

(注)1 セグメント資産の調整額15,962百万円には、主に投資と資本の相殺消去△5,802百万円、債権債務の相殺消去△14,311百万円、貸倒引当金の修正1,993百万円、及び各報告セグメントに配分していない全社資産等34,186百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

5 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

前連結会計年度(自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)

(固定資産に係る重要な減損損失)

主として「雑貨事業」セグメントにおいて、事業撤退に係る減損損失81百万円を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)

(固定資産に係る重要な減損損失)

主として「国内アイウェア事業」セグメントにおいて、減損損失320百万円を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の影響につきましては、ワクチン接種率の上昇に伴い感染者数が減少してきたこと等により、2021年10月より全国的に緊急事態宣言等の解除がなされたものの、今後の人流増加等により感染者数が再拡大する懸念があり、依然として予断を許さない状況が続いているものと考えております。

今後の収束時期等を正確に予測することは困難な状況にありますが、2022年8月期の一定期間にわたり影響が継続すると仮定し、固定資産の減損及び繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
1株当たり純資産額	761円05銭	866円29銭
1株当たり当期純利益	71円49銭	141円07銭
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	67円40銭	127円35銭

(注) 1 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
1株当たり当期純利益	71円49銭	141円07銭
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	1,687	3,292
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	1,687	3,292
普通株式の期中平均株式数(株)	23,605,321	23,340,216
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	67円40銭	127円35銭
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(百万円)	△26	△53
(うちその他(税額相当額控除後)(百万円))	(△26)	(△53)
普通株式増加数(株)	1,036,155	2,095,676
(うち転換社債型新株予約権付社債(株))	(1,036,155)	(2,095,676)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要		—

2 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度末 (2020年8月31日)	当連結会計年度末 (2021年8月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	17,763	20,219
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	17,763	20,219
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の 数(株)	23,340,255	23,340,216

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 役員の変動

①代表取締役の変動

該当事項はありません。

②その他の役員の変動

開示内容が定まった時点で開示いたします。